



品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		8月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
バラ	茨城	施設	サムライ、ローテローゼ、ティケネ、パレオ、パピオン、ダーリン、オーシャンソング 他	周年	11 98	350	250	30	35	35	石岡市、土浦市、かすみがうら市、つくば市
	群馬	施設	アヴァランチェサムライ他	周年 (5~11月)	13.2 90%	850 90%	700 90%	30	35	35	前橋市 昭和村 富岡市
	山梨	促成 半促成 露地	スーパーイエロー等	6月~12月 (7月~8月)	3.7 100%	60 100%	50 100%	40	45	15	笛吹市 (八代町)
	静岡	施設	サムライ アヴァランチェ リメンブラン シンディ	周年		1,100 100%	900 100%	30	30	40	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲
	愛知	周年	サムライ08 レッドスター アヴァランチェ シンディ フレアー 他	4-3月 ( )	-- ( %)	2,500 100%	1,400 100%	30	35	35	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河
	大分	周年	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年 ( )	8 (100%)	430 (90%)	160 (90%)	35	35	35	玖珠 山香 九重町飯田
トルコギキョウ	北海道	促成~	ピッコロサスノー ジャスニーホワイト クラリスピンク 海ほのか	5~11月 8~9月	2,485 98%	5,126 103%		40%	30%	30%	由仁町 JAそらち南
	秋田	施設	ロジーナシリーズ ピッコロサシリーズ セレモニーシリーズ	6月~12月 (8月~10月)	10.8 (100%)	2,130 (100%)	1,491 (100%)	40	30	30	かつの・秋田しん せい・秋田おぼ こ・秋田ふるさと・ こまち・うご
	山形	加温 無加温 シェード 加温	ホヤージュシリーズ ピッコロサシリーズ ロジーナシリーズ 他白八重 他ピンク八重 他黄八重 一重 等	6~11月 (7~10月)	25 (89%)	1,250 (96%)	940 (97%)	30	40	30	JA新庄市 JA新庄もがみ JA山形もがみ JA鶴岡 JA庄内たがわ JA庄内みどり JA山形市 ほか
	福島	抑制	白八重 ピンク八重 パス紫 他	5~11月 (8-9月)	10 (98)	600 (103)	550 (103)	25	40	35	あいづ 会津みどり 会津いいで
	長野		レイナホワイト クラリスピンク コロライトピンク ロジーナハンダー	5/下~12/上 (7/下~8/上)	51 (101%)	2300 (100%)	800 (95%)	30	40	30	信州諏訪 上伊那 ちくま 信州うえだ

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
輪菊	秋田	ふるさと: お彼岸向けは8月下旬からの出荷となるが、9/10がピークとなりそう。丈も90-80cmとれている。 みなみ: 9/15頃をピークと見ている。病害虫もなく、丈もとれている。 おばこ: ピークは特になく、ダラダラとした出荷が9月下旬まで続く。精の一世、岩の白扇、精の曲中心に昨年並みの出荷量を見込む。	<b>現状</b> 8月前半はやや落ち着いた取引となり、需要期の間際中心に引き合いが強まった。需要期後は数量も落ち着いた事で堅調な取引となった。後半に関しては、白菊は入荷量が減少し堅調な取引。色菊に関しては徐々に数量も増加しやや落ち着いた取引となった。
	福島	9月咲きは現在発蕾が始まっている。(平年並み)一部圃場で破蕾したものが散見されている。 10月咲き: 生育中。側枝の整理(仕立て)は終了。	<b>見通し</b> 大田花き 上旬は、お月見需要に向けたピンポン菊の需要が高まる。その後中旬にかけて、彼岸需要中心の販売となる。周年産地については、愛知、静岡、福岡中心の入荷となる。季節産地は長野、群馬中心の入荷だが、若干生育前進傾向となっている。
	茨城	・品質は概ね良好である。 ・目立った病害虫の発生は見られない。 ・20日頃までが出荷のピーク	FAJ 彼岸に向けて順調な生育、安定した出荷が見込まれる。愛知中心の入荷で品種は一世中心。
	山梨	生育は乾燥の影響により、昨年より2~3日程度の遅れとなっている。出荷量は前年並の見込み。	東日本板橋花き 彼岸需要中心2L90-80
	長野	大雪による定植の遅れ等により彼岸向けの作付けは昨年よりも増えている。現状の生育は例年並み~やや前進となっているが、今後の気候により前後する可能性がある。	世田谷花き お彼岸需要もあり、入荷は昨年並み。単価は保合ぐらいの見込み。 第一花き
	静岡	生育は若干前進気味となっているが、15日(月)前後がピークの予想。下位階級の発生が若干少なめになっており2Lクラス中心の出荷を見込む。	
	愛知	・現時点での生育状況は順調~やや前進傾向。出荷量は9月2週目から増加し始め、ピークは15日(月)販売となる見込み。 ・精の一世が中心であるため上位階級中心の出荷となるが、密植によって例年よりも下位階級の発生率は高くなる予定。 ・密植により前年よりも出荷量が増える可能性があるが、一部のほ場で立ち枯れ・奇形花・病害虫の発生が見られるため、どの程度増加するかは被害状況次第となる。	
	大分	8月盆の出荷を終え、現在端境となっている。盆前より曇天、降雨が局地的に続いているが大雨等の直接被害報告はなし。現在彼岸向けの出荷内容確認中。	
小菊	秋田	みなみ: 露地物は前進傾向にある。強風の影響で一部圃場で曲りの被害がでている。 しんせい: 台風11号の影響で、沿岸部の一部圃場で曲りやスレが散見される。8/25頃から出荷量が増え、9/上旬には各色揃い、9/10頃ピークと見ている。ここ数日の雨の影響で白サビ、アブラ虫の発生は懸念されるが、徹底防除の呼びかけをする。	<b>現状</b> 本年度前進開花の影響で8月前半に関してはやや落ち着いた取引となり、需要期の間際中心に引き合いが強まった。需要期後に関しては数量も落ち着いた事で堅調な取引となった。下旬に関しては白小菊中心に徐々に数量も増加し、大きな引き合いも無くやや落ち着いた取引となった。
	茨城	・露地もののピークは1週間ほど前進し9/8の週の見込み。 ・若干丈の伸びが悪い。 ・目立った病害虫の発生は見られない。 ・一部の圃場では草丈が短い。	<b>見通し</b> 大田花き 上旬は特別大きな需要無く、各地数量も増加していく為やや厳しい販売となる。中旬以降は彼岸需要に向けて徐々に引き合いが強まっていく。本年度の彼岸に関しても8月盆同様に若干 前進傾向の為、需要期間の入荷数量が色目によって不安定となり、不足感ある色目中心に引き合いが見込まれる。
	群馬	生育はやや前進傾向にあるが、目立った病害虫の発生もなく概ね順調。	FAJ 今後の気象条件や台風などで大きく変わるが、彼岸に向けて順調な生育、安定した出荷が見込まれる。 東日本板橋花き 前進傾向 彼岸需要で活発2L50
			世田谷花き 9月のお彼岸に向けて入荷量は増えてくる。 第一花き

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
バラ	茨城	・出荷のピークは平年並み。 ・一部の圃場では多澗水による生育不良の見込み。	<b>現状</b> 国産下位等級など、出荷経費割れのものもあり、主に西南暖地が出荷調整をしている。高冷地は暑さが厳しく、昨年同様品質劣化が見られた為、単価が伸び悩んだ。輸入品は一部の農園の出荷が無いなど、昨年の相場の流れを見て、出荷を見合わせている状況。
	群馬	目立った病害虫の発生もなく、生育は順調。	<b>見通し</b> 大田花き 暦の関係上、昨年は非常に高単価で推移をしたが、本年度は暦が悪く、昨年並の高単価は期待が出来ない。数量は昨年並みを見込むが、残暑次第。 2,870,000本 @70
	山梨	生育は乾燥の影響により、昨年より2～3日程度の遅れとなっている。出荷量は前年並の見込み。	FAJ 宴会需要みこまれ週末引き合い強まる。 後半からは近郊産地も出荷本格化する見込み。 東日本板橋花き 高温の影響で国産物は上位等級物の発生が少なくなる。輸入物の入荷が始まって、入荷量は横ばい。需要が戻り、強めの引き合いになる見込み。
	静岡	出荷の中心は50～60cmクラスとなっており、上位等級の発生率は低めでボリューム不足も見られる。今月は横ばいだが、9月に入れば新植分も含み増加してくる見込み。	世田谷花き 暖地中心に全体の入荷が増える。中旬から婚礼の引き合いも強くなるが下位等級は販売が厳しい見込み。
	愛知	・例年よりも改植を早く終えた産地もあり、秋口に向けて出荷量の増加に期待したいが、生産者が減少していることもあり出荷量は前年と同程度となる見込み。 ・ヒートポンプによる夜冷を行っているが、時期的に下位等級の発生率が多くボリュームもない状態がしばらく続く見込み。	第一花き
	大分	生育上の問題は特になし。現状60cm以下の発生率が高いが、徐々に上位へスライドしてくる見込み。日量は横ばいで月間安定出荷の見込み。	
トルコギキョウ	北海道	現況は、高温の影響にて1～2週間の前倒し出荷が続いている。お盆向けの作型が、8月上旬出荷となり、現在は8月下旬分の出荷となっている状況である。天候が不安定なため、圃場・作型のバラツキがあり、9月ピークは予測しにくい。今後の天候推移により変動の大きさが想定される。	<b>現状</b> 産地により天候の影響等もあって前進しており、8月に入り昨年に比べるとやや減の入荷量となった。販売面でも真夏日が続いていることで小売りの売れ行きが鈍く、単価面でも厳しい状況。
	秋田	ふるさと：例年より10日程度前進しており、前半の高温、干ばつ傾向の影響により、丈が短めのものが多い。 しんせい：9月出荷はそれほど多くなく、日量で80～100ケース前後。7月中旬定植の物は10月以降の出荷となる。ここ数日の長雨で輪数不足とステムの柔らかさが懸念される。	<b>見通し</b> 大田花き 高温等の影響が無ければ比較的例年に近い入荷量が見込まれる。中旬以降、お彼岸、ブライダル需要も見込まれ、活発な取引となる見込み。
	山形	9月出し作型の生育は、前年並みからやや早い。品質は良好であり、病害虫の被害はほとんどない。	FAJ ブライダル需要高まり活発な取引続く。 引き続き高冷地中心の入荷となるだろう。 東日本板橋花き 今後の天候次第だが暑さが続けば、潤沢な入荷が見込める。色目によっては品薄感がでる。
	福島	・あいづ：生育良好。9/10過ぎから増量見込み。 ・会津みどり(坂下)：6月定植抑制型(早い)9月頭より出荷増えそう。抑制(一般)は9月中旬より。 ・会津いいで：9月10日頃より日々増加見込み。	世田谷花き 北海道・長野・秋田・山形などから、各色入荷潤沢。
	長野	県内の各産地より秋向けの作型が始まってくる。また、北信地域では2番花の出荷も始まっており、数量は増加してくる見込み。各産地とも生育は順調。	第一花き